

2022年度年会 参加および講演募集要項

日本応用数理学会2022年度年会実行委員会

2022年度年会を以下のとおり開催します。参加および講演ご希望の方は以下の要項をよくお読みの上、お申し込みください。なお、2022年4月現在、対面形式での開催を予定しております。しかしながら、COVID-19の感染拡大状況次第では、オンライン開催に変更する可能性があります。開催方式の決定は6月末までに行い、学会ホームページにて速やかにお知らせします。なお、対面とオンラインのハイブリッド形式での開催は予定しておりません。

- **会場**：北海道大学高等教育推進機構（〒060-0817 北海道札幌市北区北17条西8丁目）
- **日程**：2022年9月8日（木）～10日（土）
- **年会公式ウェブ**： <https://jsiam.org/annual2022/>
- **参加方法**：本会会員、非会員に関わらず参加できます。年会公式ウェブから参加申し込みをして下さい。Web参加申し込みの期日は、2022年6月7日より9月4日の24:00迄でございます。なお、法人賛助会員については、1口あたり2名までは正会員の価格で年会に参加できます（ただし、登壇発表に関しては、非会員と同じ扱いになります）。
- **参加費**：

一般	会員	非会員	備考
Web早期参加申込	4,000円	8,000円	8月5日(金)まで
Web通常参加申込	6,000円	10,000円	8月6日(土)以降、9月4日(日)まで
当日参加申込	10,000円	15,000円	9月5日以降当日まで
学生	会員	非会員	
Web早期参加申込	0円	3,000円	8月5日(金)まで
Web通常参加申込	1,000円	4,000円	8月6日(土)以降、9月4日(日)まで
当日参加申込	2,000円	5,000円	9月5日以降当日まで

※懇親会は開催しません

- **支払い方法**：Web申し込みはクレジットカードのみ（昨年通り）、当日は現金支払いのみです。なお、ご利用いただけるクレジットカードの国際ブランドは下記の通り：VISA, MasterCard, JCB, AMEX, Diners（上記の国際ブランドがついたデビットカードもご利用いただけます）。クレジットカード決済は（株）国際文献社が決済業務を代行しております。カード明細には「国際文献事務センター」または「コクサイブンケン ジムセンター」、海外カードの明細の場合は「IAP CONFERENCE SERVICE」と記載されます。
- **領収書**：参加登録システムからダウンロード（入金確認後から可能）
- **講演の種類**：
 1. 口頭講演
 - ✓ 一般講演
 - ✓ 研究部会主催OS
 - ✓ 正会員主催OS
 2. ポスター講演

● **日程・締め切り一覧：**

- 参加申込受付開始 5月30日(月)
- 正会員主催OS企画申込締切 6月3日(金)
- 研究部会主催OS企画申込締切 6月10日(金)
- 講演（口頭・ポスター）申込開始 6月17日（金）
- OS講演申込締切 7月8日(金)
- OS主催者による講演順の報告締切 7月8日(金)
- 一般口頭講演申込締切 7月15日(金)
- Web早期参加申込締切 8月5日(金)
- 予稿原稿提出締切 7月29日(金)
- ポスター講演申込締切 8月5日(金)
- Web通常参加申込締切 9月4日（日）24:00
- 年会当日：9月8日（木）～10日（土）

1. 講演のための資格

原則として、口頭講演とポスター講演の発表者（講演の申し込みをし発表をする人）は本会会員に限ります。発表希望者が、非会員である場合には、学会ウェブの入会方法のページにて入会の手続きと入会金・年会費の支払いをお済ませ下さい。正式な入会受理は、理事会での承認の後ですが、仮会員番号（Kから始まる番号）を用いて、会員として講演の申し込みが可能です。ただし、研究部会主催OSと正会員主催OSでは、本会非会員の方であっても、研究部会あるいはOS主催者の了解があれば発表ができます。ただし、実行委員会は、発表希望者と研究部会およびOS主催者の仲介はいたしません。

2. 講演申し込み方法と締切

(a) 口頭講演

口頭講演の講演時間は、原則、20分（準備、質疑応答、交代時間を含む）です。ただし、研究部会主催OSと正会員主催OSでは、これ以外の時間を割り振ることがあります。口頭講演の申し込みの際には、題目、概要（200字）、共著者全員の氏名・所属・連絡先をご準備の上、年会ウェブの講演申し込みのページから申し込みをして下さい。一般講演をご希望の方は、口頭講演種目で「一般講演」をお申し込みください。研究部会OSと正会員主催OSでの発表をご希望の場合は、ご自身の発表されるOSの名前をあらかじめご確認の上、口頭講演種目でそのOS名をお選びください。ただし、OSでの講演申し込みには、OSの主催者が講演者に知らせるOSパスワードが必要です。

口頭講演の申し込み期間は6月17日（金）から7月15日（金）24:00までです。締め切り後の申し込みは、いかなる理由があろうともお受けできません。

年会において、一人の参加者が発表者として登壇できる、すなわち、筆頭著者として発表できる口頭講演は最大2件です。（この他にポスター講演1件が可能です。）

(b) ポスター講演

ポスター講演については、詳細は随時、年会ウェブで公表します。ポスター講演の申し込みの際には、題目、概要（200字）、共著者全員の氏名・所属・連絡先をご準備の上、年会ウェブの講演申し込みのページから申し込みをして下さい。

ポスター講演の申し込み期間は6月17日（金）から8月5日（金）24:00までです。締め切り後の申し込みは、いかなる理由があろうともお受けできません。年会において、一人の参加者が筆頭著者として発表できるポスター講演は1件のみです（この他に口頭講演2件の発表ができます）。

(c) 注意事項

なお、申し込まれた講演の題目や講演者名の変更はできません。共著者の削除と追加も認められません。よくご検討の上、お申し込みをお願いします。

3. 講演予稿

紙に印刷した予稿集は発行いたしません。各講演の予稿にリンクを貼ったウェブページと、すべての予稿を1つのPDFにまとめたファイルを用意します。

(a) 作成と提出方法

口頭講演は、一般講演、研究部会OS、正会員主催OSに関わらず、一講演あたりA4版2ページ（カラー可）の予稿集原稿を、年会ウェブにある予稿テンプレート（LaTeXあるいはWord）を用いて作成してください。年会ウェブにある予稿執筆要領に従った原稿作成をお願いいたします。原稿はファイル容量1 Mbyte 以下のPDFファイルを年会ウェブで提出してください。PDFファイルの作成においては、必ずフォントを埋め込んでください。フォントの埋め込まれていないPDFファイルについて、閲覧時に文字化け等を起こしたとしても、実行委員会では責任を負いかねます。また、LaTeXやWord、PDF作成等の技術的な事項、およびフォントライセンスに関するお問い合わせにつきましては、実行委員会では一切お受けできませんので、ご自身でお調べ下さい。

(b) 締切

講演予稿提出の締め切りは7月29日（金）24:00です。締め切り後の提出は、いかなる理由があろうとも認められません。また、講演予稿が締め切りまでに提出されない場合は、口頭講演の申し込みを取り消します。

(c) 予稿集の公開について

年会会期中は、年会参加者のみが年会ウェブにログインすることによって、予稿集を閲覧できます。大会終了後（3ヶ月を予定）、改めて、年会ウェブで一般公開いたします。

4. 研究部会主催 OS の開催

(a) OSの開催と講演者の資格

各研究部会は、研究部会主催OSの開催ができます。1セッションは80分で構成されています。原則として、1セッションに20分講演を4件配置して下さい。一つの研究部会について、最大で4セッションの開催を受け付けます。

原則として、講演の発表者は本会会員に限ります。非会員の発表希望者には、できるだけ、本会への入会を勧めて下さい。ただし、研究部会主催OSでは、研究部会の判断で非会員であっても発表を許可することができます（この判断は、研究部会が行って下さい。理事会や実行委員会に諮る必要はありません）。また、研究部会OSの各講演者には、講演申し込みに必要なOSパスワードをお伝えください。実行委員会では、OSパスワードを知っている参加者は、当該のOSにおいて発表を許可されていると理解します。OSパスワードのお取り扱いには十分ご注意ください。

(b) 申し込み方法と締切

研究部会OSの開催する場合は、研究部会の主査あるいは（本会会員の）幹事が、以下の情報を実行委員会（annual2022@ml.jsiam.org）宛に、6月10日（金）24:00までにお知らせください。

メールの表題：研究部会OS申し込み（部会名）

研究部会名：

開催するセッション数：

連絡担当者名（ただし本会会員に限る）とメールアドレス：

(c) 講演順の決定

OS講演申し込み締め切りの7月8日（金）24:00までに、下記の情報を実行委員会（annual2022@ml.jsiam.org）宛にお知らせください。プログラム編成の際に利用します。

メールの表題：研究部会OS講演順（部会名）

研究部会名：

セッション1

1. 登壇者氏名，講演題目

2. 登壇者氏名，講演題目

3. 登壇者氏名，講演題目

4. 登壇者氏名，講演題目

※ 2セッション以上の場合も同様

連絡事項：

(d) 各口頭講演の申し込み

研究部会OS内で発表される口頭講演も、通常的口頭講演の申し込みと同様に申し込みをすることができますが、締切は一般口頭発表申込締め切りよりも1週間早い7月8日となりますので、各講演者にご連絡ください。申し込みの際にOSの選択ができますので、OSパスワードを入力してもらって下さい。OS主催者に申し込みをただけで、口頭講演申し込みが終了したと勘違いする講演者が、例年、少なくありません。各OSでの連絡をお願いいたします。予稿の提出についても同様です。

(e) 注意事項

- 一つの研究部会について5セッション以上の開催は認められません。講演希望者が4セッションでは収まらない場合は、一般講演での発表をお勧めください。

- 研究部会OSの開催日時に関しては、原則として、ご希望を聞くことはできません。ただし、タイムテーブル作成時に、連絡担当者にも御協力をお願いする予定です。
- 1セッション80分で、20分講演4件を前提としていますが、これ以外の時間配分を行う場合には、講演順の通知の際に「連絡事項」に詳しく記述して下さい。ただし、19分以下の講演を設定することは認められません。
- 1セッションの中に80分ぶんの講演が設定されていない場合は、講演内容を考慮した上で、実行委員会の判断で、一般講演を入れることがあります。
- 「総合講演」と「招待講演」は学術委員会が推薦した講演、「特別講演」は実行委員会が設定した講演に使います。OS内での企画にはこれらの名称は使用せず、これ以外の名称、例えば「企画講演」などとして下さい。
- セッションは、原則、研究発表をするために設定しております。研究部会の判断で、パネルディスカッションなどを企画されることは歓迎しますが、事務的な連絡会などは、セッションの時間外に開くようにして下さい。

5. 正会員主催 OSの開催

(a) OSの開催と講演者の資格

本会会員（学生会員を除く）は、正会員主催 OSを開催することができます。1セッションは80分で構成されています。原則として、20分講演を4件配置して下さい。一つの正会員OSについて、最大で4セッションの開催を受け付けます。

原則として、講演の発表者は本会会員に限ります。非会員の発表希望者には、できるだけ、本会への入会を勧めて下さい。ただし、正会員主催OSでは、OS主催者の判断で、非会員であっても発表を許可することができます（この判断は、OS主催者が行って下さい。理事会や実行委員会に諮る必要はありません）。また、正会員主催OSの各講演者には、講演申し込みに必要なOSパスワードをお伝えください。実行委員会では、OSパスワードを知っている参加者は、当該のOSにおいて発表を許可されていると理解します。OSパスワードのお取り扱いには十分ご注意ください。

(b) 申し込み方法と締切

正会員主催OSの開催する場合は、OS主催者が、以下の情報を実行委員会（annual2022@ml.jsiam.org）宛に、6月3日（金）24:00までにお知らせください。なお、OS採択の可否の決定に一週間程度かかります。お早めにお申し込み下さい。

メールの表題：正会員主催OS申し込み（OS名）

OS名：

概要：

主催者名・所属：

開催するセッション数：

講演予定者（代表的な方数名で良い）：

(c) 講演順の決定

OS講演申し込み締め切りの7月8日（金）24:00までに、下記の情報を実行委員会（annual2022@ml.jsiam.org）宛にお知らせください。プログラム編成の際に利用します。

メールの表題：正会員主催OS講演順（OS名）

OS名：

セッション1

1. 登壇者氏名，講演題目
2. 登壇者氏名，講演題目
3. 登壇者氏名，講演題目
4. 登壇者氏名，講演題目

※ 2セッション以上の場合も同様

連絡事項：

(d) 各口頭講演の申し込み

正会員主催OS内で発表される口頭講演も、通常的口頭講演の申し込みと同様に申し込みをすることができますが、一般口頭講演申し込み締め切りより1週間早い7月8日となりますので、各講演者にご連絡ください。申し込みの際にOSの選択ができますので、OSパスワードを入力して下さい。OS主催者に申し込みをただけで、口頭講演申し込みが終了したと勘違いする講演者が、例年、少なくありません。各OSでの連絡をお願いいたします。予稿の提出についても同様です。

(e) 注意事項

- 一つの正会員OSについて5セッション以上の開催は認められません。講演希望者が4セッションでは収まらない場合は、一般講演での発表をお勧めください。
- 正会員OSの開催日時に関しては、原則として、ご希望を聞くことはできません。ただし、タイムテーブル作成時に、OS主催者にも御協力をお願いする予定です。
- 1セッション80分で、20分講演を4件を前提としていますが、これ以外の時間配分を行う場合には、講演順の通知の際に「連絡事項」に詳しく記述して下さい。ただし、19分以下の講演を設定することは認められません。
- 1セッションの中に80分ぶんの講演が設定されていない場合は、講演内容を考慮した上で、実行委員会の判断で、一般講演を入れることがあります。
- 「総合講演」と「招待講演」は学術委員会が推薦した講演、「特別講演」は実行委員会が設定した講演に使います。OS内での企画にはこれらの名称は使用せず、これ以外の名称、例えば「企画講演」などとして下さい。
- セッションは、原則、研究発表をするために設定しております。OS主催者の判断で、パネルディスカッションなどを企画されることは歓迎しますが、事務的な連絡会などは、セッションの時間外に開くようにして下さい。

6. 表彰

(a) 若手優秀講演賞

年会若手優秀講演賞は、口頭講演に登壇して優れた講演発表を行った若手研究者に贈呈する。2022年4月1日現在で35歳未満の講演者は、年会若手優秀講演賞の選定の対象となる。対象外の者との共著論文も表彰対象とする。ただし、過去に若手優秀講演賞を受賞した者は選定の対象から除く。

(b) 年会優秀ポスター賞

年会のポスター講演において、優れた研究成果を発表した講演者に、年会優秀ポスター賞を贈呈する。内容だけでなく、ポスターとしても優れていることも考慮する。2022年度4月1日現在で35歳未満の講演者は、年会優秀ポスター賞の選定の対象となる。対象外の者との共著ポスターも表彰対象とする。ただし、過去に年会優秀ポスター賞を受賞した者は選定の対象から除く。

問い合わせ先：

日本応用数理学会2022年度年会実行委員会
annual2022@ml.jsiam.org

以上